

「学級閉鎖0をめざして 換気の取り組み」

～ピア・サポート活動のコミュニケーションスキルを学びながら～

保健委員会

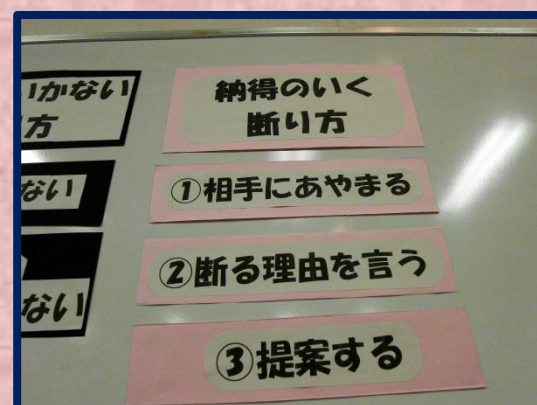
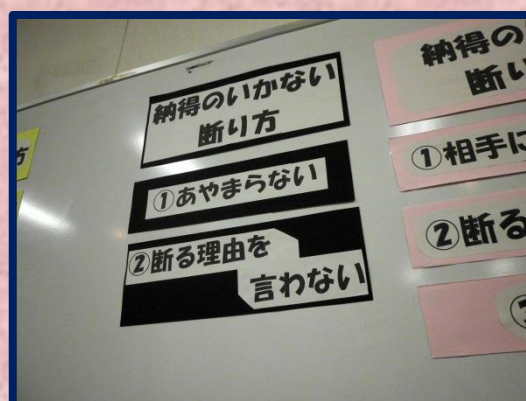
保健委員会では、風邪やインフルエンザによる学級閉鎖を0（ゼロ）にするために、昨年度から毎休み時間ごとに保健委員が5分間教室の換気をする取り組みをしています。

保健委員は休み時間になると、各教室で自作の「換気ステッカー」の貼ってある窓を開けます。でもクラスの子どもの協力なしには成功しません。「寒いから開けんといて！」「かえって風邪ひくやんか！」「開けにくいな」「開けるとまた何か言われそう・・・」と換気がうまくできません。

そこで、先日の保健委員会ではピア・サポート活動から

「上手な頼み方・納得のいく断り方」を学びました。

よくない頼み方	すてきな頼み方
①いきなり頼む	①相手の名前を呼ぶ
②理由を言わない	②相手の都合を聞く
③相手の都合を聞かない	③頼む内容を言う
	④頼む理由を言う
	⑤相手にお礼を言う



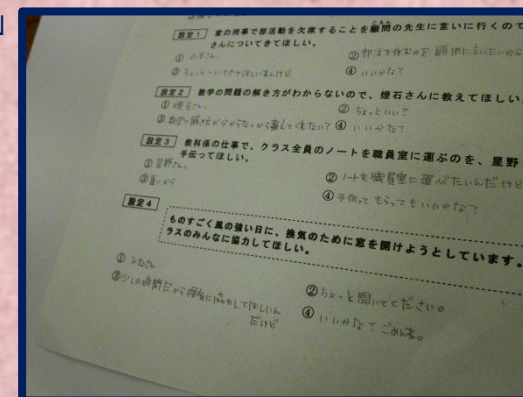
ロールプレイや、例題で練習してから、実際の課題について考えます。

①

・「ものすごく風のきつい日に、換気のため窓を開けようとしています。みんなに協力してもらうためには？」

- ①みんな ②ちょっと聞いて
- ③ちょっとの時間やから、換気に協力してほしいんだけど
- ④いいかな？ごめんね

・だまって開けて、文句言われるより、よっぽど気持ちのいい頼み方ですね。

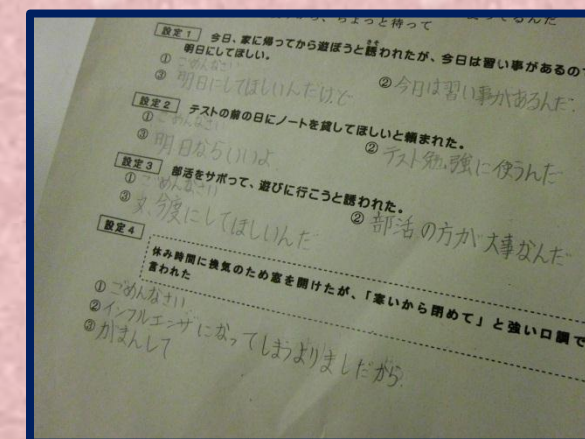


②

・「休み時間に換気のために窓を開けたが「寒いから閉めて！」と強い口調で言われた時」
あなたならどうする？

- ① ごめんね
- ② インフルエンザにかかってしまうよりはましやから
- ③ 我慢して

・こういわれるとクラスの子みんなも協力しないわけにはいきませんね。



感想

- ・最後に感想です。
- ・クラスの換気のために協力してもらうのに、役立つと思った。一言あれば気を悪くしないと思った（3年）
- ・うまく頼めば、言った方も言われた方も気持ちよく過ごせるので、努力しようと思った。（2年）
- ・ちょっと換気はめんどくさいけど、がんばってみようと思った。一方的に開けるんじゃなくて、「ステキな頼み方・納得のいく断り方」を使って、みんなで協力してやってみようと思った。（1年）
- ・よくない頼み方をされたこともあるけど、「ごめん」「ありがとう」と言ってくれたから納得ができた。それに自分もよくない頼み方はしないようにしようと思った。（1年）